

疾風の如く

vol.020

個別教育フォレスト

(兵庫県宝塚市)

安多 秀司 さん

学習塾の新時代を切り拓く、塾長歴10年未満の期待の星に聞く

「お客のために」と精を出す両親 それが、この森の最初の一本だった

両親の背中、勉強ギライな自分
全ての原点がそこに

どの学習塾も、目の色を変えて生徒確保に腐心するこの時代。そんな中、常に入塾キャンセル待ち状態という、目覚ましい盛況ぶりの塾がある。個別教育フォレスト、塾長・安多秀司(三三)。その驚くべき実績とは裏腹に「売上」への執着を微塵も見せない好人物だ。童話「北風と太陽」に例えるなら、明らかに太陽とでも言っべきか。

成功のカギは、その人柄からも感じられる「他者に尽くす」心だ。そしてその原点は、故郷で小さな食堂を営む、両親の姿にあるという。まだ宵の静けさが残る早朝、薄暗い厨房で仕込みを始める。夜も遅くまで片付けが続く。黙々とそんな毎日を重ねる両親の背中を見て、素直に「カッコイイ」と感じた。

地道に頑張る姿、というよりは「ただ、お客さんに美味しいご飯を」という、心意気に憧れたのだ。それは「誰かのために」という利他の心。その精神こそが、安多の塾運営の根幹をなしている。しかし、そんな安多も、母親には少しだけ反発した。彼女は教育熱心で、安多が小さい時から「医者になりなさい」と、過酷な勉強を課したという。自営業の辛さを知っているからこそその親心だが、反抗期の少年には、その干渉が重たいもの。母の熱心さに反比例するように、勉強から距離を置いた。

そのせいか、中学受験で辛酸をなめ、いわゆるスベリ止めの学校に入学。その後の成績下落も転がる石の如くで、明らかに「できない子」だった。だが振り返れば、そこに光明があったと感じる。自分がそうだった故に、今でも「できない子」の気持ち痛いほど分かるのだ。「できない子」の想いを理解できる心遣いと、両親から学んだ、利他の心。後に大きな「森(「フォレスト」となる最初の種は、ここに蒔かれた。



教室長の森さんと

食堂を営む両親の背中を見て育った。「お客のために」汗を流す姿に憧れ、自分もそうなりたいと願った。金儲けや生活の糧としての塾経営ではない。ただ、生徒のために、保護者のために。そのひたむきな想いが、彼らからの圧倒的な支持を掴む。

生徒や保護者に幸せを

ただ、そのためだけの塾として「個別教育フォレスト」の定員は八〇名。これにキャンセル待ちが続くが、枠を広げる気も、教室を増やす気もない。生徒一人ひとりに細かに対応するには、この数字が限界だと思っただけだ。講師にも「生徒の立場に立てる」利他の精神を磨いてもらうため、教育コーチングの研修を施すなど、人材育成も熱心に行う。

「生徒への目配りを決して忘れない」と話し、「なんだか元気がない」など、少しでも何か感じたら、細かに家庭と連携を取るようにしている。塾にいる間は我が子の様子が分からないのだから、親としては非常に安心。とても喜んでくれていたそうだ。単なる成績アップという結果だけではない。生徒と、保護者と、心で繋がっているのだ。

また、特筆すべきはその授業料の安さ。近隣相場より、二〜三割は安い。それに関しても「特別にウチが安いわけではありません。僕は、これが適正価格だと思いますよ」と涼しい顔で語る。

塾である以上、成績アップは当然の務めだ。加えて、低価格と心あるサービス、それこそがフォレストのホスピタリティ。「お客様あつての塾。塾というのはサービス業です」と安多は言い切る。

結局、すべては「それが生徒や保護者のためになるか?」という視点であり、そこに私欲は存在しない。だからこそ、入塾希望が絶えないのだ。

その心を元に、現在は、塾開業を目指す人に対するコンサルティングも行っている。宝塚の森(フォレスト)から風に乗った種が、遠い街で「新たな森」として芽吹いて行けるように。(敬称略)



緑を配し、居心地のいい教室を心がける

塾というのは、サービス業だ



安多 秀司
HIDESHI YASUTA

1979年生まれ。京都市出身。(株)スタンダードカンパニー個別教室事業責任者としてゼロから個別教室を立ち上げる。退職後の2008年7月、宝塚市にて「個別教育フォレスト」を開業。低価格と誠実なサービスが地域の人々の心を掴み、口コミで評判を高める。以来、入塾希望者が絶えず、常にキャンセル待ちという人気ぶり。現在は、塾開業希望者へのコンサルティングも行っている。

- 「個別教育フォレスト」WEBサイト
<http://www.kobetsu-forest.jp/>
- 教室ブログ「フォレストブログ」
<http://ameblo.jp/kobetsu-forest/>
- 塾開業ブログ「29才で独立、個別指導塾を経営している代表のブログ」
<http://ameblo.jp/kobetsu-support/>